

博物館教育論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 下の文章は、博物館法第2条(定義)の抜粋である。①～⑩の()について以下の□の中から当てはまる語句を選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。(各2点)

博物館法(昭和26年法律第285号)

第2条(定義)

この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、(①)、自然科学等に関する(②)を(③)し、(④) (育成を含む。以下同じ。)し、(⑤)して教育的(⑥)の下に一般(⑦)の利用に供し、その(⑧)、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な(⑨)を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする(⑩) (以下略)

ア 施設	イ 産業	ウ 教養	エ 文学	オ 資料
カ 登録	キ 収集	ク 支援	ケ 収蔵	コ 活動
サ 機関	シ 情報	ス 整理	セ 保管	ソ 配慮
タ 公衆	チ 大衆	ツ 事業	テ 教育	ト 展示

2. 次の説明の()の中に当てはまる用語について、□の中から当てはまる記号を1つ選びなさい。(各2点)

- (1) 平成29年に公示された小学校学習指導要領において、学校教育での博物館等の積極的な活用を図る事例として示されている教科等は、社会科・理科・()・総合的な学習の時間である。

ア 道徳科	イ 図画工作科	ウ 生活科	エ 国語科
-------	---------	-------	-------

(2) 平成29年に改正された()法の理念をねらいの中に位置づけた平成30年に文化庁から出された「多様なニーズに対応した美術館・博物館のマネジメント改革のためのガイドライン」では、学校教育との積極的な連携をすすめている。

ア 学校教育 イ 博物館 ウ 文化芸術基本 エ 文化財保護

(3) 歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで、特別感や地域特性を演出できる会場として活用することを()という。

ア アダプティブユース イ リビングヘリテージ
ウ エコミュージアム エ ユニークベニュー

(4) 障害の有無に関係なく共に学ぶことで、共生社会の実現に貢献しようという考え方で2006年の国連総会で採択された障害者の権利に関する条約で示されたものは()である。

ア 統合教育 イ ユニバーサルデザイン
ウ インクルーシブ教育 エ バリアフリー

(5) サンフランシスコのサイエンスセンター「エクスプロラトリウム」では、博物館運営の3つの原則として、ハンズオン、ワークショップ、()を教育活動の基盤としている。

ア ギャラリートーク イ ネットワーク
ウ アウトリーチ エ レファレンスサービス

3. 博物館教育について記述した(A)～(E)についての文章を読み、それぞれ誤っているものをア～エの記号の中から1つ選びなさい。(各2点)

(A) 博物館の歴史

ア. 18世紀のイギリスでは、人々の心と精神を教育するという芸術作品や芸術活動への注目が高まり、個性豊かなミュージアムが設立された。

イ. 1753年にハンス・スローン (Sir Hans Sloane, 1660-1753) の個人コレクションをイギリス政府が購入し、キューガーデンを創設した。

ウ. ナポレオン3世は1855年と1867年の2回、パリで万国博覧会を開催し、フランスの産業革命の成果を世界に発信した。

エ. 1957年のスプートニク・ショックにより、科学技術教育の比重が高まったアメリカでは、科学や宇宙をテーマにした博物館が創設され、博物館の教育プログラムへの関心が高まった。

(B) 教育の概念規定

ア. 教育の目的を活動的な英知の産出であると定義したのはホワイトヘッドである。

イ. ホワイトヘッドは、知的成長を促すためには「ロマンスの段階」「精密化の段階」「普遍化の段階」を循環させる教育アプローチの必要性を提唱した。

ウ. ホワイトヘッドが提起する「精密化の段階」とは、言語や文法を習得し、認識相互の関係を正確に秩序だてることができるレベルを意味する。

エ. ホワイトヘッドは、リズム重視の教育論を提起し、あらゆる学びのアプローチに先がけて音楽教育から始めることの必要性を問題提起した。

(C) 博物館の教育

ア. 学芸員の調査研究の成果を発表する情報アプローチはコレクションメソッドといわれ、近年はICTを活用した立体的なプログラムに進化している。

イ. ギャラリートークには、講義型と対話型がある。講義型では、収蔵品の材質、技法、背景、歴史などといった知識を啓蒙的にレクチャーする。

ウ. 1990年代以降、博物館のコレクションを活用し、博物館の利用者の興味関心を育みながら、知の成長を促す「対話型」の学びのアプローチが重要視され、実証研究が実施されるようになってきている。

エ. 博物館の標本や展示品を実際に手でふれながら、利用者がモノの魅力を再発見できるように働きかける学びのアプローチをハンドリングセッション、ハンドリングツアーという。

(D) 博物館の教育デザイン

ア. 博物館の展示コレクションと利用者自身の問題意識を相互作用させ、働きかけを促すためには、バリアフリーな空間を用意しておく必要がある。

イ. 博物館の教育デザインは、利用者が博物館に入館してから退館するまで育まれた感動と知的な満足を考慮しながら組み立てておく必要がある。

ウ. 博物館が持っている資料は、人々に学びのきっかけを与え、学ぶ意欲を引き出す教育資源である。

エ. 博物館が利用者のリピート誘導を促すためには、利用者一人ひとりの学習歴を記録し、訪れる度に新しい感動に出会えるアクティビティを展開する必要がある。

(E) 博物館の利用者満足度を評価する指標としてふさわしいのは、

ア. 利用者の博物館の滞在時間である。

イ. 一年間に博物館にリピートした回数である。

ウ. 一人の利用者がワークショップに参加した回数である。

エ. 特別展の入館者数と収益である。

4. 次の(1)～(5)の文章について、内容が正しいものには○、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。(各2点)

(1) 観光ビジョン実現プログラム2018では、学芸員や文化財保護担当者等に対する文化財を活用した観光振興に関する講座の新設、質の高いヘリテージ・マネージャー(Heritage Manager)等の養成と配置の提起などが提案されている。

- (2) ニューヨークメトロポリタンミュージアムの友の会では、寄付金の多寡で会員のグレードが10段階以上に設定され、ミュージアムを利用する際の特典も段階的に設定されている。
- (3) メディアとタイアップしたパブリシティ戦略を活用し、来館者の集客を増大させる経営手法をリレーションシップマーケティングという。
- (4) 博物館が所蔵するコレクションを編集し、教育利用の掛図を考案し、学校教育に貢献する資料開発に取り組んだのは、初代国立科学博物館長の田中芳男である。
- (5) ジョン・デューイは、子供の教育は、過去の価値の伝達ではなく、未来の新しい価値の創造にあると述べた。

5. 「新しい時代の博物館制度の在り方について」(平成19年6月)に記載されている「学芸員に求められる専門性」の中で、**高いコミュニケーション能力を有し教育活動等を展開できる能力**が必要とされる理由を示し、あなたが学芸員の職に就いた際に、どのように教育活動を展開すればよいか、博物館で実際に行っている事例をもとにして400字以内で述べなさい。(20点)

6. 2018年、OECDとICOMは共同で「地域開発の最大限の成果を求めて—地方政府、コミュニティ、ミュージアム向けガイド」を共同で作成した。そこには、「博物館や文化遺産は地域発展を強力に後押しする大切な資産であり、観光客を誘致し、収益を生み出し、地域経済を活性化し、包摂を強化し、文化の多様性を促進し、地域のアイデンティティを再構築する力となります」という記述がある。ここで述べられているように、近年、博物館には、収集した資料を評価、保存することに加え、その価値を継承し、さらに人々の学びにつながるように活用したり、編集したり、デザインしたりすることで地域社会の観光政策や社会サービスに貢献する役割を担うことが可能になる。

以上のような視点で、**博物館の資料と利用者の興味関心を結びつけながら学びをデザインすることの意義**を述べ、**博物館教育が地域社会を活性化する理由**について400字以内で論じなさい。(30点)